

見学会とシンポジウム

呉の石垣景観は継承できるか —石垣景観継承の必要性と可能性をさぐる



2001年3月芸予地震被災から10年、呉地域では多くの石垣が崩壊し、消失した。特に呉斜面地域の特徴といえた石垣景観が思わぬ地震襲来によって大幅に後退した。現下の石垣修復技術や技術者の実態からいえば止む得ないところもあるが、石垣景観をより積極的に継承するためにどのような政策・対策が必要か検討することは大きな意義がある。石垣はどのように崩壊しやすいのか検証しつつ、今後の石垣に対する事前対策も検討し、技術を高めて実施していかなければならない。もちろん石垣景観を一方向的に継承すべきとは言えないし、防災対策は極めて重要であるが経費的にも負担が大きいので、このことを含めて呉の住宅地、特に斜面住宅地の景観と安全性のあり方を、見学会とシンポジウムによって検討しようというものである。

日時：2011年3月26日（土）午後1時～5時

PART 1：見学会と現地検討会 / 午後1時～3時

■場所：午後1時に呉市両城2丁目200階段登入口附近(両城小学校裏手)に集合（時間厳守、予定時間通りに移動）
石工技術者から説明を受け、石垣の現状、問題点、芸予地震の被害対策、修復方法、事前対策等を検討する。
あわせて石垣景観の実態について把握に努める。

PART 2：シンポジウム / 午後3時～5時

■場所：つばき会館407・408集会室(呉市中央6丁目2-9 0823-25-3593)

パネリスト：上本宏美（石垣講座師匠、石工） 糺谷哲（石垣講座弟子・石工修行中） 三浦正幸（石垣研究者、広島大学教授）
山崎裕（呉市職員、元芸予地震石垣復旧担当） 井本健一（井本建設社長、建築士会呉地区支部長）

コメンテーター：篠部裕（呉工業高等専門学校教授）

コーディネーター：石丸紀興（広島国際大学教授）

主催：日本建築学会中国支部農村計画委員会（石垣景観シンポ実行委員会）

共催：日本都市計画学会中国四国支部

後援：呉市

定員：見学会は30人程度、シンポジウムは150人（当日先着入場者）

参加費：無料

問合せ先(開催日前日まで)：日本建築学会中国支部事務局(082-243-6605)